

風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷
相模原市中央区田名7236-3
発行責任者 政野 光廣
042-760-1033
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp

やまびこ工房 芸術の秋 2020

秋の味覚

作: 菊池さん



アマビエ

作: 菅さん



個性豊かな作品が
揃いました!

トラック&ショベルカー

作: 茂川さん



お月見

作: 菊池さん



【2020年 秋号】

- | | | | |
|-------------------|-------|----------------------|-----|
| ◇巻頭文 | P 2 | ◇「それぞれ」～自閉症支援センターより～ | P 3 |
| ◇特集くやまびこ工房の感染症対策> | P 4・5 | ◇決算報告 | P 6 |
| ◇内部研修を受け～これから～ | P 7 | ◇後援会のページ | P 8 |

緩みを排して

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当法人の運営にも大きな影響が出ています。たとえば、私たちが提供する特徴あるサービスに、ガイドヘルプサービスや行動援護サービスなどの外出を伴う個別支援がありますが、感染防止の観点から、電車やバス、タクシーなどの公共交通機関を使用した活動の自粛や、カラオケ店など密室性が高いとされる施設利用を回避する等の取り組みを行っています。

こうした取り組みの結果、利用者の方たちにとっては、これまで楽しみにしていた活動が制限され、十分に行えないことから、不満足な状況が続いているといえます。また、これまでヘルパーとしての業務時間の割合が多かった支援スタッフにとっては、ヘルパー業務の減少により収入減に直面しています。

前年度までは当法人の決算時に監事の方から「事業規模の割に収入が多い」と評価されており、その要因がガイドヘルプサービスや行動援護サービスなどの個別支援を、皆で協力し合い積極的に取り組んできた成果としての収入でした。しかし、今年度はコロナ禍による影響と、相模原市の市単加算の削減が重なり大幅な収入減が見込まれます。

このように、厳しい状況が続いている中で、わがスタッフ一同は、日中活動の要である【やまびこ工房】【第二やまびこ工房】で感染者を出さないようにと、マスクの着用や手指消毒を徹底し、施設内の換気やこまめな消毒作業を全職員協力のもと取り組んでくれていますし、帰宅後は家庭内での感染予防対策にそれぞれが尽力してくれているものと思います。

先日、いつもご協力いただいている看護師さんから「コロナ対策を引き続き徹底してください。『緩み』が最も大きな脅威になりますよ」との助言をいただきました。関係者全員の協力を得て、現在まで感染者を出さずに来ておりますが、これを継続できるようさらに気を引き締め『緩みを排して』感染防止に努めていきたいと思えます。

残念ながら、新型コロナウイルスの感染が完全に終息し、以前と同じ社会生活を送れるようになることはなく、『with コロナ』の時代を生きねばならないと言われてしています。

こうした時代の中にあって、利用者一人ひとりの豊かな地域生活を実現するために、また、職員一人ひとりの生活を守るためにも、従来からの事業内容を見直すとともに、時代の要請に沿った新たな事業を検討し、その実現に向けた取り組みを進めていきたいと思えます。

今後ともさらなるご支援ご協力をお願いいたします。

常務理事 中島博幸

第13回 相模原市自閉症児・者 作品展

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として会場での展示は行わず、インターネット配信と致します。皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。ホームページアドレスからアクセスしてください。

<URL><http://sagami-yamabiko.jpn.org/>

<掲載期間>11月1日(日)12時 ~ 11月15日(日)22時まで

<お問い合わせ>相模原やまびこ会 090-2468-1331

それぞれ ～相模原自閉症支援センターより～

風の谷の事業所であるやまびこ工房と第二やまびこ工房には短期入所施設も併設されている。日中活動の場である工房を利用した後にそれぞれ赤い屋根、白い羽根（短期入所棟の名称）へ移動する。個室があって、希望する方にはテレビとDVDプレイヤーを設置している。最近、久しぶりに担当することがあり、その時の様子を報告してみたい。

Aさんは、自室に入ると“くつろぎ着”（ゆったりした服装）に一旦、着替えて、テレビをつけ、布団に入る。しばらくすると、下着姿になっていて、布団で横になりながら、ディズニーの絵を見たり、ぬり絵をしている。日が沈んで部屋が暗くなっても電気は付けず、テレビの明かりで、絵を見ている。トイレに行く時は、律儀にも“くつろぎ着”を着る。歯磨きの時も入浴の時も着ながら自室から出てくる。Aさんのことを知らない人であれば、入浴の時は（脱衣するのだから）下着のままでもいいと言ってしまってもいいかもしれない。20年近く前にAさんは、当時の体験型グループホーム ナウシカで利用したことがあった。その時、1週間だったか、1ヵ月だったかは覚えていないけれど、ご家族の思いだけが記憶に残っている。家の中では、裸でいることが多いので、腰にバスタオルを巻く練習をしたというようなことであった。当時は、何度も入浴し、腰にバスタオルを巻いて出てきて、リビングを歩いていたように思う。

Bさんは、持参した山陽新幹線のDVDを見たいでセットしてくれという。テレビの前に座って見始める。私はリビングにいて、Bさんからの質問について答えている。岡山や広島や山口に関すること、どうして〇〇駅は急行が止まらないのかという質問である。難しい。18:30になり夕食の準備をしようと思うがまだ見ている。19:00になってもまだ見ている。1時間くらいのDVDだと思っていたが、運転手席あたりからひたすら走行している様子を撮影しているDVDで、新大阪～博多までのものであることに気づいた。小倉駅を過ぎたあたりから「もうすぐ着くよ」と高揚している。Bさんと一緒に新幹線に乗ったことがある。その時も一つ一つの駅の通過をかみしめながら、目的の駅に近づくにつれて嬉しそうな様子だったことを思い出した。お腹は空いたが博多に到着してから夕食にした。

その日のメニューは、トンカツだった。事前に担当職員に何か気をつけることはあるか？と訊いたが「ない」ときっぱり言った。AさんもCさんも自分の予想通りの食べ方はしないのだけは、情報として持っている。だから事前にソースをかけておくようなことは、してはいけない。とりあえず、そのまま提供する。Aさんは、そのまま何もかけずに召し上がり始めた。Cさんにソースをかけるかを聞くと「しょうゆ」と言う。しょうゆを持ってきてかけようとするすると制止された。そしてキッチンを指さしている。何を求めているのかわからない。そこでキッチンに来てもらおうと、食器棚から小皿を持っていく。そこにしょうゆを入れてくれという。入れると小皿からトンカツにかけていた。そういうことだったのかと安心しているとAさんから「のりたま」と言われる。えっ、のりたま？と思いつつ、冷蔵庫を開けると、あった！ごはんにかけて召し上がってくれた。Cさんはトンカツを食べ終わるとお替りを希望された。ないことを伝え、納得してもらったが、翌朝、朝食のために声を掛けると開口一番が「トンカツ」であった。

風の谷の短期入所はどうあるべきか、いくつかの課題がある。1つ目は、やまびこ工房、第二やまびこ工房の利用者を主として利用受け入れをしており、地域に開かれているとは言えない現状がある一方、他施設の短期入所を障害特性や行動障害故に利用できない工房利用者も多い。2つ目は、新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの施設が基本的に短期入所の受け入れを中止している。3つ目は専任の支援者の確保である。夜間帯の仕事に支障がある職員も多い。自分も宿泊してみて、自宅で溜まっていく家庭ゴミの燃えないゴミ（月1回）やペットボトル（週1回）が捨てられなかった。様々な面で工夫が必要なようだ。（薬師丸）

やまびこ工房の感染症対策



今年度は新型コロナウイルスの流行により、世界中に様々な影響を与えています。今まで当たり前に行っていたことを自粛、制限されることが多くなり、感染予防に努める日々が続いています。様々な企業や家庭においても今となっては、感染予防をすることは日常の一部になっているように感じます。テレワークといった仕事の形や、電車の換気、ソーシャルディスタンス、手指消毒などはもはや当たり前の対策として取り組まれています。

こういった世間の生活スタイルの変化には、日々の支援にも大きな影響を及ぼしていますが、職員をはじめとした利用者の方々にもご協力いただきながら、感染予防に努めています。今回はやまびこ工房で取り組んでいる対策の一部と、その様子や新たな発見をご紹介していきたいと思えます。

○検温

職員は出勤前に検温を行いその日の体調についても報告をしています。朝の体温、本日の体調、家族の体調を毎日チェックして勤務します。利用者の皆様、来所された方々にも検温のご協力をお願いしています。

○マスクの着用

職員は全員マスクを着用しています。利用者の皆様も出来る限りのところで着用をして頂いています。マスク不足や高値での販売がされている時期もありましたが、市から供給されたものなどを施設内で持続的に活用していけるように管理しています。夏場の時期は感染症と同時に熱中症への配慮も必要です。経口補水液や塩分補給タブレットなど、リスクを防ぐために新たに取揃えたものもあります。

○アルコール消毒

送迎車内や共有スペースなどの多数の人が触れる場所は重点的な消毒を実施しています。また、職員は携帯できるサイズのアルコールスプレーを常に持ち歩き、いつでも消毒が出来るようにしています。

○換気

作業室内、送迎車内の換気を行っています。利用者の方によっては、今までは「閉まっていたはず」「閉まっているべき」の窓が開いていることは気になるようです。説明をして納得して頂いたり、時間を決めて開放するなどして取り組んでいます。

基本的な感染予防として取り組んでいることの中で、利用者の皆さまがどんなところに課題を感じているか、また私たち職員が今回のこの機会に新たに知ることができたこともあります。

換気の対策でも少し触れていますが、ある方は開けている窓をその窓は「閉まっているべき」と丁寧に閉めに行きます。職員が「開けておきます」と伝えると「ん」と返事をされてそれ以降は開けたまま活動をされます。翌日、同じように窓を開けていると、同じように丁寧に閉めに行きます。「開けておきます」と伝えると、やはり「ん」と返事をされてそれ以降は開けたまま活動されます。こういったやり取りがしばらく続いたところであることに気が付きました。この方はご自身の動線にある窓やドアに対して特に「閉めておく」といった意識が強くありました。同じ作業室でもほかの方が利用されている部屋の窓が開いていても、ほとんど気にされることはありません。

またある方はアルコールによる手指消毒を行ったことによりその時間に消毒することがルーティンになりました。ただ、その方は数や回数に対してこだわりがあり、何でも奇数に数を増やしたがりです。当初はアルコールを手に付ける回数は1回だったのですが次第に回数が3回、5回と増えていきました。そこで本人と相談してルールを作り、今では適切な回数で実施しています。

その方にとって、こういった環境の変化がどの程度の影響を及ぼしているかを知り、皆さんのニーズに共感しながら一緒に感染予防としての支援に取り組んでいきたいと思えます。

世界的にも未だ猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、このために取り組み始めた様々な対策は日頃の衛生管理にも役立っています。これからインフルエンザの流行の時期になりますが、今まで見えなかった細かな視点で配慮できるようになり、こういった対策はそのまま効果的なものとして使っていくことが出来ます。生活スタイルが大きく変化していくと言われている中で、プラスの変化はそのまま残し事業所としてより良いスタイルを目指していきます。



やまびこ工房では利用者の皆様が描いた絵や作業で切ったシールを用いてマスクケースを作りました。それぞれの個性が光る作品は好評です！スーパーマーケットや美容室など様々な施設でマスクの着用を推奨されています。今となっては必需品となったマスクを持ち歩くのにとっても便利です。

社会福祉法人風の谷 2019年度決算状況報告

(単位：千円)

(1) 資金収支計算書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

区分	収入額	支出額	資金収支差額
事業活動による収支	423,840	344,311	79,529
施設整備等による収支	7,905	26,530	-18,624
その他の活動による収支	104	9,338	-9,234
合計	431,849	380,179	51,671

※当期末支払資金残高 478,657

(2) 事業活動計算書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

勘定科目	当年度決算
サービス活動増減差額	64,216
サービス活動外増減差額	1,291
経常増減差額	65,508
特別増減差額	-6,684
前期繰越活動増減差額	645,570
当期末繰越活動増減差額	704,394
次期繰越活動増減差額	704,394

(3) 貸借対照表 (2020年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	506,771	流動負債	51,913
固定資産	930,365	固定負債	289,266
		純資産の部	
		基本金	55,912
		国庫補助金等特別積立金	279,150
		その他の積立金	56,500
		次期繰越活動増減差額	704,394
資産の部合計	1,437,136	負債及び純資産合計	1,437,136

(4) 財産目録 (2020年3月31日現在)

区分	金額
資産の部	1,437,136
負債の部	341,180
差引純資産合計	1,095,956

内部研修を受け ～これから～

やまびこ工房では今年度、新人職員に向けての内部研修が三日間行われました。

まず初めに文章の書き方やビジネスマナー等の社会人として大切な基礎の部分を選び、研修の初日には、理事長や施設長から福祉の現状、やまびこ工房開所の成り立ちについて教わり、その豊富な経験談から、支援にあたる姿勢や失敗を恐れずに進んでいくことの大切さを感じました。

二日目と三日目には、「マインドマップ」や「SHELL分析」を学び、物事を深く考えたり多角的に捉えるための方法と、事故等のハプニングの分析方法や再発の防止、虐待の種類や注意事項について講義を受けました。また、てんかん発作や感覚の特異性等の自閉症者の持つ特性についてDVDや実例をもとに学びました。他には、研修の中で支援課長や新人職員同士でボードゲームをし、そのゲームをする中で、仲間と意見を出し合い共通の目標に向かって進めていくことの大切さを学ぶことができました。

特に内部研修の中で印象に残ったのがSHELL分析でした。SHELL分析とは、【S(Software)：手順書、マニュアル、規則】【H(Hardware)：機器、設備、施設の構造】【E(Environment)：温度や湿度などの物理的環境や仕事、行動に影響を与える数値化可能な情報】【L(Liveware)：当事者以外の人】

【L(Liveware)：当事者】の英字頭文字からとったもののことで、研修では、工房で実際に起こった事例を取り上げ、SHELL分析を活用し事故の分析、事故の再発防止策を考えました。私はこの研修で、事故の原因として考えられるものを洗い出していくことによって一つひとつの事故因子(可能性)を見つけ出し、それを一つずつ改善していくことの大切さを学ぶことができました。

内部研修を終え、実際に支援の現場に配属され、初めて対応をしたのがAさんでした。ある日Aさんと一緒にトイレに入った際、Aさんはトイレ内の小物を見つけると、それで遊び始めてしまいました。トイレ内で遊んでしまっただけでは不衛生と思った私が止めに入ると、Aさんは逆に高揚してしまい、遊びがエスカレートしてしまいました。ここでの状況は、【S:まだ十分な情報が得られていない利用者】【H:トイレ】【E:なし】【L:Aさん】【L:入職してから間もない新人職員】となります。SHELL分析を活用し、この日の一連の流れを振り返り、翌日から支援にあたりましたが、実際に分析した通りに対応してみると、考えていたような支援はできませんでした。また一日を振り返り、翌日の支援にあたり、こうして毎日工夫しながら繰り返していったところ、Aさんが何に困っているのかが徐々に見えてくるようになりました。するとそれからは日ごとに行動が変化していき、今ではトイレでの小物遊びはなくなりました。

もし研修なしで突然現場に入っていたら、私はAさんの行動をどう受け止められていただろうかと不安に思います。今回の支援ではすべてがうまくいったわけではありません。でも、研修内容を振り返ったり先輩職員の話聞きながら、チームとなって支援を組み立てられたことは、今後も私にとって大切な「研修」として残ると思います。いつか自分もそんな先輩になれるよう、日々の支援にあたりたいと思います。

(石塚・小川・柳沢)



後援会のページ



ようやく暑さが和らぎ過ぎやすくなって参りましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。
今年は二月初めからずっとコロナ一色の毎日でした。私の様な高齢者で持病を持っていると、特に感染の不安から逃れる事ができません。どうしても自宅の近所に出掛ける程度なので運動不足になりますし、精神的なストレスも感じています。

工房にお世話になっている私の息子も電車に乗って一人で少し遠くへ出掛けることが大好きなのですが、それを制限せざるを得ないのでかなり欲求不満気味です。不憫ですが仕方ありません。

神奈川県では新規感染者があまり減っていない状況ですが、幸いなことにやまびこ工房では今まで感染者が出ていません。これは工房職員の方々や工房利用者のご家族の努力に負うところが大きかったと思います。手洗いの励行・検温・マスクの着用・三密を避ける等のコロナ以前とは異なる生活習慣を徹底することは簡単そうに見えて、抜かりなく実行するのは意外と大変なことと感じています。特に環境変化への対応が苦手な障害を持つ子供達にとってはとても難しいことです。

多分これからも長い戦いになるでしょう。気張らず抜からず日々暮らして参りましょう。

風の谷後援会会長 堀田脩司

令和元年12月1日～令和2年8月31日現在（五十音順敬称略）

【新規個人】

(相模原市) 加来和仁 河本節子 高橋潤 田邊恵 正木幹彦 (愛甲郡愛川町) 脇淳一 (座間市) 熊田良子
(綾瀬市) 後藤郁奈子

【更新個人】

(相模原市) 安藤美由紀 石崎叔子 井田圭子 井上響子 井上ふみ子 岩根徹 小川ひろみ 小川幸枝
鏡京子 加藤秀典 川合義正 川勝登美子 川勝英範 菊池みどり 菊間政好 工藤真弓 小林和子 小針和昇
小松克明 近藤幸子 齋藤真澄 佐藤しづ子 佐藤清一 篠崎繁雄 渋谷安恵 清水恵美子 清水悟 菅照雄
鈴木秀美 竹内英次 都築尚一 豊田幸男 中村成美 永山智恵子 縄島健一 萩原常寿 萩原春夫
萩原莉恵子 原徹 原友作 古橋須美 辺見祐二 政野大 政野光廣 松原麻子 百田紀久男 山田正人
吉澤孝雄 吉田さやか (座間市) 大澤宏二 中塚正彦 (愛甲郡愛川町) 萱沼幸夫 高橋美代子
(厚木市) 新井靖数 佐藤つかえ 山井京子 (町田市) 竹花三枝 山本昭子 (大和市) 村岡嘉紀
(八王子市) 上城功 (横浜市) 青山恵子 安藤紀子 石渡和実 大久保秀俊 岡村香奈江 川勝友紀子 菊池孝子
作野雄一 清水洋子 内藤美也子 鷺谷廣道 (川崎市) 上野悟 (横須賀市) 浅羽昭子 (世田谷区) 済田安司
済田順子 (さいたま市) 江澤恵 (上田市) 合津紀子 (仙台市) 辺見貴江子 (弘前市) 松岡美喜子
(盛岡市) 宮手敏雄 (北九州市) 佐々木継生 (堺市) 守屋恵美子 (福井県三方上中郡) 塚本寿子

【更新団体】

相模原やまびこ会 (有) 伸和トラスト

【ご寄付・ご協力】

加来俊恵 木下謙三 宮田勇 新宿自治会 振興自治会 新宿小学校 (有) 伸和トラスト

ワーカーズキュービック相模原

その他たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

＜お問い合わせ先＞

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345